

情報公開文書（オプトアウト文書）

「依存症専門外来における、被虐待体験と自助グループ参加の関連性に関する研究」へのご協力をお願い

神奈川県立精神医療センター依存症診療科では、依存症専門外来を受診された患者さんを対象に、電子カルテに記載された診療録を用いて、幼少期の被虐待体験と自助グループ参加の関連性に関する調査研究を実施しています。この研究は、依存症患者さんに自助グループをご紹介します際に有益なものになり得ると考えております。

研究課題名	依存症の背景因子としての被虐待体験が、自助グループ参加に及ぼす影響についての調査
研究の対象	2020年4月～2024年1月の期間に神奈川県立精神医療センター依存症専門外来に初めて受診され、研究責任者が治療を担当した方を対象とします。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	依存症専門外来を受診される方の、被虐待体験を含めた臨床的特徴と自助グループ参加の関連性について理解を深めることで、回復支援をより有効に行っていくためです。ただし、患者さん個人が特定できないように匿名化して調査するため、個人情報外部に漏れることはありません。プライバシーには十分配慮します。
研究期間	承認日～2024年9月まで
研究に使用する試料・情報の種類	電子カルテの診療情報（初診時の質問票、年齢、性別、診断名、生育歴、現病歴など）
研究実施期間（研究組織）	主研究機関：神奈川県立精神医療センター 研究責任者：依存症診療科 平野 祥子
外部への試料・情報の提供とその方法	外部への資料・情報提供はいたしません。
情報の管理について責任を有する者・所属	平野祥子（神奈川県立精神医療センター依存症診療科）

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2022年4月1日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さんの個人を特定できることはあり

ません。

本研究は神奈川県立精神医療センター依存症診療科内で実施しております。研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。本研究の対象となる患者さんでご自身の情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データから情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。尚、調査と検討が進み統計的処理が実施、公表された場合には、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら、下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口は神奈川県立精神医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先：研究責任者 依存症診療科 平野 祥子
地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel:045-822-0241 内線